

中学校の授業時数について

中学校の授業時数は、文科省により決められています。ここに、平成5年度から実施のもの、平成14年度から実施のもの、平成24年度から実施のもの(現行)を拾ってみました。

1週間の時間割で「1コマ」授業を1年間行くと年間で「35時間」授業を行う計算になります。ですから、平成5年実施のものを見てもらうとわかるように、ここに出てくる数値はすべて35の倍数です。70時間だったら週2時間、105時間だったら週3時間、140時間だったら週4時間というようになります。これに従って、1つの時間割を組めば、1年間同じ時間割できちんと時間の確保ができることになります。平成5年度実施以前のものも、すべて35時間の倍数になっていました。

<平成5年～>

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	道徳	特活	選択
1年	175	140	105	105	105～ 140	70	70	105	70	35	35～ 70	0～ 35
2年	140	140	140	105	105～ 140	35 ～70	35 ～70	105	70	35	35～ 70	0～ 105
3年	105	70～ 105	140	105～ 140	105～ 140	35	35	105～ 140	70～ 105	35	35～ 70	35～ 175

※ 実際には外国語の時数は選択教科の時数の中に組み込まれていました

ところが、平成14年度実施のものからおかしな数値がでてきます。「45」「80」「85」「90」とか35の倍数ではないのです。ですから、1つの時間割で1年間を過ごすことができなくなります。私の知っている限りでは、1年間を『A週』『B週』『C週』と3つの期間に分け、それぞれ、時間割を作り直す方式で行っているように思います。何の意図があって、こういう時間を設定したのかわかりませんが、これによって、時間割担当者の苦労が倍増されることになりました。

こういうところでも、教員の仕事を軽減することができるように思うのですが…。

<平成14年～>

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	道徳	特活	選択	総合
1年	140	105	105	105	105	45	45	90	70	35	35	0～ 30	70～ 100
2年	105	105	105	105	105	35	35	90	70	35	35	50～ 85	70～ 105
3年	105	85	105	80	105	35	35	90	35	35	35	105～ 165	70～ 130

<平成24年～(現行)>

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	道徳	特活	総合
1年	140	105	140	105	140	45	45	105	70	35	35	50
2年	140	105	105	140	140	35	35	105	70	35	35	70
3年	105	140	140	140	140	35	35	105	35	35	35	70